



平成 29/30 年産さとうきび集荷終了!!



昨年 12 月 15 日から開始されたさとうきび収穫が、約 4 ヶ月にわたって島内全域で行われ、4 月 7 日に終了しました。

今期産のさとうきびは、4 度の台風の影響を受け、収量、糖度ともに過去最低水準の不作に見舞われました。

平成 29/30 年産さとうきびの生産量 116,336 トン（前年比：73.5%）、単収 5,080 キロ（前年比：76.9%）、平均糖度 11.02 度（前年比 84.8%）と前年を大きく下回る結果となりました。

詳細は、下記の通りです。

平成 29/30 年産さとうきび集荷実績 (新光糖業自営・含蜜糖向けは除く)

	面積 (ヘクタール)	生産量 (トン)	生産額 (万円)	単収 (kg)	平均糖度 (度)	平均単価 (円)
西之表市	598	28,827	53,501	4,821	11.08	18,559
中種子町	1,216	65,676	122,215	5,401	11.02	18,609
南種子町	476	21,832	40,414	4,587	10.94	18,511
計	2,290	116,336	216,131	5,080	11.02	18,578
28/29 実績	2,394	158,209	337,927	6,609	13.00	21,360
27/28 実績	2,504	124,921	260,948	4,989	12.81	20,889

出荷最盛期 レザリーリーフファン目揃い

「4月24日」中種子町花き振興会は、中種子町花き集荷場で、レザリーリーフファンの目揃え会を行いました。母の日を前に、レザリーリーフファンの出荷が最盛期を迎え、同振興会は、良質な品物の提供が出来るよう、生産者や担当者約30人がレザリーリーフファンを手にとり、出荷規格や出荷基準の確認を行いました。

葉の曲がりや折れがないか、箱詰めの際の注意点、葉色の統一など選別に関する確認をし、生産者及び関係者の意識統一を図りました。

母の日に送られる花をより美しく引き立てるレザリーリーフファンを最高の品質で消費者の皆様にお届けしていきます。

